

授業科目	ハングルⅡ				単位	1		
履修	選択	関連資格			ナンバリング	TO10419J		
開講年次	3・4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP5-2			
担当教員	金光子							
授業概要	「ハングル1」を履修した学生を対象に韓国語の基本的文法を学習する。 また会話・作文などアウトプットにも力を入れる。							
学生が達成すべき行動目標	1.用言文の活用ができる。 2.会話のやり取りができる。 3.簡単な作文ができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	10	0	0	20	20	100	その他は、授業貢献度。
知識・理解 (DP1-1)	30	10			10	10	60	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)	20				10	10	40	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
簡単な韓国語に受け答えすることができる。 韓国語で簡単な単文を作ることができる。				韓国語で質問しその答えを聞き取ることができる。 簡単な文章を書くことができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	ガイダンスと復習 ハンゲル1で学んだ内容を総復習。	講義	復習:該当部分の復習	60
2	丁寧表現へヨ体(1) 丁寧文末表現を学ぶ。	講義	復習:該当部分の復習	60
3	丁寧表現へヨ体(2) へヨ体の縮約形を学ぶ。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
4	固有数詞(1) 固有数詞を覚える。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
5	固有数詞(2) 固有数詞の運用法を学ぶ。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
6	数詞と会話 数詞を使った会話をする。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
7	過去形 過去接辞の活用を学ぶ。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
8	否定 否定文を学ぶ。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
9	不可能 不可能を表す表現を学ぶ。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
10	尊敬形 尊敬接辞の活用を学ぶ。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
11	提案 提案表現を学ぶ。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
12	義務 義務表現を学ぶ。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
13	意志・意向 意志・意向を表す表現を学ぶ。	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
14	会話と作文	講義 小テスト	復習:該当部分の復習	60
15	まとめ 学習した用言活用の復習と会話練習。	講義	これまでの14回講義をまとめておく。	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	予習・復習はもちろんのこと、「声を出す」ことを惜しまないように。			
テキスト	宋美玲 他著『踏み出そう！ 韓国語への第一歩』白帝社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	随時紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	テキストのCDを聞きながら繰り返して“声を出して”練習してください。			
達成度評価に関するコメント	試験、小テスト、提出物については授業中に説明します。 その他は授業貢献度で評価します。			